

大学史研究通信

セミナー・総会 号外 2023年11月20日(月)
大学史研究会

セミナー・総会 号外の内容: 第46回大学史研究セミナープログラム、総会について、編集後記、
大学史研究会運営委員/事務局員一覧

※「会員情報・新入会員自己紹介」については、次号(第109号)に掲載を予定しております。

第46回大学史研究セミナープログラム

12月2日(土)、3日(日)開催の第46回大学史研究セミナープログラムをご案内いたします。参加ご希望の方は、研究会HPよりお申込み下さい。

- ・開催方法: 対面で実施します(オンライン配信はいたしません)。
- ・日時: 2023年12月2日(土)・3日(日)
- ・会場: 中央大学 茗荷谷キャンパス 3E06教室
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」徒歩約1分



- ・構成: 12月2日(土) エクスカーション、総会、シンポジウム、懇親会
12月3日(日) 自由研究発表
- ・参加費: 無料
※会場校である中央大学様の格別のご厚意により、会場を無償でご提供いただきました。そのため本年度に限り、特例措置で無料となります。
- ・懇親会費: 会員・非会員(有職者) 5,000円 大学院生・非会員(非有職者) 2,000円
- ・申込方法: 大学史研究会HPのGoogle Formsで受け付け
(申込期間: 11月13日(月)~11月26日(日))
※特別企画のエクスカーション申込用と、セミナー本体の申込用と、申込サイトは2種類ありますので、お気を付けてください。
- ・注意: 宿泊施設につきましては、各自で確保くださいますようお願い申し上げます。

2023年12月2日(土) AM 10:00~11:30

<特別企画>エクスカーション: 神田学生街を歩く

当日午後のセミナーで扱う、神田地区の学生街を歩いてみます。シンポジストでもある中央大学広報室大学史資料課の岩立将史氏に、ご案内頂きます。

- ・行程: 神保町駅→スズラン通り(古書店街)→学士会館(南校所在地)→英吉利法律学校発祥地(現神田スクエアホール付近)→東京物理学校校舎跡地(旧東京法学校・仏学校校舎)→旧中央大学駿河台校舎跡地→明治大学→中央大学駿河台キャンパス→ニコライ堂→御茶ノ水駅(不測の事態により当日ルート変更の可能性があります。ご了承ください。)
- ・集合時刻: 12月2日(土) AM 10:00
- ・集合場所: 都営地下鉄「神保町駅」A7出口
※セミナー会場の中央大学茗荷谷キャンパスではございませんので、ご注意ください。
- ・出発・終了予定 出発: 10:10 終了予定: 11:30
- ・申込締切: 11月26日(日)

2023年12月2日(土) PM 13:30~20:00(受付 13:00~)

時間	発表者	内容
13:30~14:50		総会(会員のみ)
15:00~15:10	山本 尚史 (筑紫女学園大学)	シンポジウム「神田「学生街」と大学史」 趣旨説明
15:10~16:40	瀬戸口龍一 (専修大学大学史資料室) 松原 太郎 (日本大学企画広報部広報課) 岩立 将史 (中央大学広報室大学史資料課)	発表1. 法律学校研究会の活動と専修大学の試み 発表2. 神田学生街と私立法律学校 発表3. 中央大学のあゆみと神田学生街に関する 所蔵資料の紹介
16:50~17:50	山本 珠美 (青山学院大学)	コメント・全体討議
18:00~20:00		懇親会(中央大学茗荷谷キャンパス学生食堂)

2023年12月3日(日) 9:00~16:00(受付 8:45~)

時間	発表者	内容
9:00		開会挨拶
9:05~9:50	松浦 正博 (広島女学院大学名誉教授)	中世パリ大学におけるナチオ(natio)の役割と機能
9:50~10:35	大矢 龍弥 (広島大学大学院)	19世紀中葉ツールーズにおける法学生—「法科 ファキュルテ長の週報」を手がかりに—
	(休憩 15分)	
10:50~11:35	小林 尚矢 (科学技術振興機構(JST))	エドワード・T・チャニングの修辞学構想—ハー バード学則改革(1825)との関連を視点として—
11:35~12:20	福石 賢一 (高知工科大学)	戦間期ケンブリッジ大学工学コースの教育理 念: Inglisの言説を中心に
	(休憩 75分)	
13:35~14:20	今野 翔太 (東京大学大学院)	日記史料にみる帝大教授
14:20~15:05	平塚 力 (京都文教大学)	大学経営における長期計画方式の学習過程 — 立命館大学の1950—90年代を中心に—
	(休憩 10分)	
15:15~16:00	羽田 貴史 (広島大学・東北大学名誉教授)	中央教育審議会答申「当面する大学教育の課題に 対応するための方策について」の学生の地位・権 利像

大学史研究セミナー シンポジウム

神田「学生街」と大学史 企画趣旨

第46回大学史研究セミナーでは、「学生街」に着目し、「神田「学生街」と大学史」というテーマでシンポジウムを開催する。

2000年代以降、学生募集などの観点から大学キャンパスの「都心回帰」は増加傾向にある。キャンパスの移転は、必然的に学生・教職員などの「人」の移動を伴う。この「人」の移動は、交通インフラの整備、生活するための空間の形成など、大学周辺地域に変化をもたらし、所謂「学生街」が形成されてきた。

しかし近年、コロナ禍を境に、学修空間のデジタル化が大きく進展し、「学生街」の在り様にも変化が生じて来た。コロナ禍に大学周辺の飲食店などが相次いで閉店し「学生街」が苦境に陥ったことは記憶に新しい。このように、キャンパス移転や大学の在り方に大きく影響される「学生街」は、今新たなステージを迎えようとしていると考えられるのではないだろうか。

本シンポジウムでは、神田地域にゆかりのある複数の大学教職員で構成する法律学校研究会のメンバーにご登壇いただき神田「学生街」を事例に、「学生街」の構成要素とは一体何なのかについて、「学生街」の変化を追いながら検討したい。

瀬戸口龍一氏（専修大学大学史資料室）「法律学校研究会の活動と専修大学の試み」

松原太郎氏（日本大学企画広報部広報課）「神田学生街と私立法律学校」

岩立将史氏（中央大学広報室大学史資料課）「中央大学のあゆみと神田学生街に関する所蔵資料の紹介」

（オーガナイザー：山本尚史）

<昼食について>

中央大学茗荷谷キャンパスの学生食堂は、土曜日は営業しております(10:00～14:00)。支払いには交通系 IC のみ利用可能です。日曜日は休業となりますので、キャンパス周辺の食事処をご利用いただくか、各自でお弁当をご用意ください。

なお、過去のセミナー（対面開催時）においてはお茶・お菓子コーナーを設けることもございましたが、今回は見送らせていただく予定です。飲み物等は各自でご用意ください。

（セミナー担当：山本珠美、山本尚史）

総会について

運営委員会より、2023年12月2日（土）の総会にて、以下の事項について報告及び審議をさせていただきます。

<報告事項>

- (1) 運営委員会・事務局活動報告
- (2) 会員数報告
- (3) 会員情報の収集について
- (4) 大学史研究通信のメールでの送付への切り替えについて
- (5) 日本学術会議協力学術研究団体への加盟について
- (6) 『大学史研究』の J-stage への掲載について
- (7) 紀要編集委員会より
- (8) 次期運営委員 推薦委員会の報告

<審議事項>

- (1) 次期運営委員 候補者について

- (2) 2024 年度に迎える紀要編集委員長・副委員長の交代について
- (3) 運営委員 推薦委員会の立ち上げについて
- (4) 紀要編集委員会より
- (5) 長期未納会員の会員資格の喪失について
- (6) 決算報告および予算案
- (7) その他

(運営委員会代表：坂本辰朗、事務局長：山本尚史)

編集後記

このたび会員の皆様に「大学史研究通信」号外をお送り致します。11月も下旬に入り、日中も寒いと感じる日が多くなってきました。先日、フェリーに乗船し、高松市から1時間ほどの場所にある小豆島（香川県小豆郡土庄町）に行き参りました。オリーブが有名で温暖な小豆島でも少しずつ冬に近づいている気配を感じました。今年は、サツマイモが豊作とのニュースが聞かれます。

会員の皆様、お元気で第46回大学史研究セミナーにお越しください。運営委員・事務局員一同、心よりお待ちしております。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

(通信担当：蝶慎一)

「大学史研究通信」セミナー・総会 号外の編集は、
事務局・蝶 慎一（香川大学）が担当致しました。
連絡先：jimu-kyoku [at] daigakushi.jp

「大学史研究通信」第109号は、2024年3月発行予定です。

大学史研究会

<運営委員長>

坂本辰朗

<事務局連絡先><http://daigakushi.jp/>

事務局へのお問い合わせは、下記代表Eメールアドレスまでお願い致します

E-mail: jimu-kyoku [at] daigakushi.jp

運営委員（五十音順）

大川一毅（岩手大学）	船勢 肇（長崎女子短期大学）
坂本辰朗（創価大学）	吉野剛弘（埼玉学園大学）
山崎慎一（桜美林大学）	山本珠美（青山学院大学）
山本尚史（筑紫女学園大学）	

事務局員（五十音順）

蝶 慎一（香川大学）	原 圭寛（昭和音楽大学）
------------	--------------